



道しるべ



みずうみ保育園職員 in 親子運動会
(前列中央: 杉村園長)

巻頭言: 「ともゆこ」…ともにゆこう

コロナ禍3年目。今年こそは、という願いむなく、今年もいきいき祭り開催は中止となりました。しかし、来年への希望を込め、何か形として繋いでいこうと、新たな挑戦に取り組むことにしました。そのテーマこそ「みずうみ“ともゆこ”プロジェクト」。“ともゆこ”とは、ともにゆこう(共に行こう)を縮めた略語です。この“ともゆこ”を今年のいきいき祭りのレガシー、合言葉としながら、各部署の特色をYouTubeで動画配信することにしました。また祭りの代替えとして、ご利用者様には次頁で紹介する「お楽しみ献立」を提供させていただきました。

コロナ禍で見えてきた、人と人との繋がり、人と地域の繋がり大切さ。その中に共通するものは、やはり思いやり、優しさ、愛情といった一番大切な根

幹の部分であると感じています。人と人が、人と地域が、「ともゆこ」の精神で、お互いに支え合い、家庭を、地域を、職場を、社会全体を築いていくことが出来れば素晴らしいことではないかと思えます。

みずうみのモットー“明るく、仲良く、楽しく、元気に”を今年は「ともゆこ」という言葉に変換し、およそ450名のみずうみの仲間を繋げながら、お互いの顔を知り、仕事を知り、特色を理解すること。そしてみずうみの仲間であることに誇りを持ち、お互いを尊重しながら、それぞれの役割に集中し、全体としての「チームみずうみ」を築いていきたい、そんな事を願って巻頭言としたいと思います。

保育部部长・みずうみ保育園 園長
杉村 由紀子

いきいき祭り代替企画「お楽しみ献立」

Q. どうして「お楽しみ献立」に決まりましたか？

今年もいきいき祭りが中止となってしまい、利用者様や職員に対し、何が出来るか模索していた中、日野部長を中心とした調理部から「みんなを喜ばせる料理を作りたい」という提案を頂き、決定しました。



実行委員長
稗田グループ長
にインタビュー

Q. どのような料理がありましたか？

各施設の調理部が様々なアイデアを出しながら、作ってくれました。例えば、すまいる苑ではラーメン、うぐいす苑ではサーモンと鰻の海鮮丼、保育園ではお子様ランチでした。刻み食やペースト食の方も、一緒に食を楽しんでいただける工夫もありました。



刻み食・ペースト食も彩りよく、おいしくできました！

Q. ご利用者様や職員の反響はいかがでしたか？

調理部の方の熱意だけでなく、実際に配膳や介助を行う職員もラーメン職人の衣装をしたり、音楽を流したり、飾りつけをしたりなど、前向きに取り組んでくれました。私も食事介助をしていたのですが、普段、ゆっくりと食事されるご利用者様が、ラーメンを勢いよく、音を立てて美味しそうにすすられていたのがとても印象的で、楽しい空気が、かつての記憶や行動を思い出させてくれたのかなと嬉しくなりました。



Q. メッセージをお願いします。

まずは何をするか手探りの中、引っ張ってくれた調理部に感謝です。今回の企画を通して、みずうみの温かさを強く実感することが出来ました。来年以降も温かさを繋いでいけるような祭りや企画になればいいと思います。



おやつは
カフェ太郎の
大判焼き



ごちそうさま！

山本編集長が行く！

～職場体験第三弾 訪問看護STの巻～



今回は、法吉訪問看護ステーションの横辻ナースに密着しました。

8:30 ミーティング



申し送り

9:00 出発

物品準備



行ってきます！



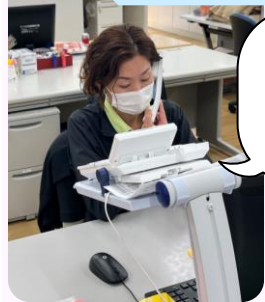
9:30 ご自宅



ご体調いかがですか？

必要に応じて、健康チェック、床ずれの予防・処置、カテーテルなどの管理、清拭や洗髪など、医療面でのサポートなどをされています。

16:30 報告・事務作業



本日の様子をお知らせします。

13:00 午後からも訪問やカンファレンス等に出かけます。

青木ナースは5歳の女の子を保育園に預けながら子育ての真っ最中です。

「子育てに関して理解してくださる先輩ナースの中で気持ちよく働いています。入社してまだ4カ月ですが、ゆっくりと丁寧に教えていただいて不安なくお仕事をすることができています」



12:00 横辻ナースに昼がきた！



訪問看護の魅力!(横辻ナース)

一人ひとりのご利用者様とじっくり向き合います。生活をサポートさせていただき、ご利用者様に合わせた看護を行っています。



リハビリスタッフも充実

ひとこと

今回取材させていただいて、訪問先のご自宅で、ご利用者様に心から温かいお声がけをされていると感心しました。ひとりひとりに寄り添った訪問看護をされていると思いました。



ベトナム料理教室

9月13日、法吉公民館の多文化共生事業の一環で、みずうみ職員であるフィンテクエアンさん・グエンティモンズンさんが講師として、「ベトナム料理教室」が開催されました。

ベトナムの家庭料理である「バインセオ（ベトナム版のお好み焼き）」とデザートを地域の皆様と一緒に作りました。

途中、ベトナムの文化についての発表もあり、深い交流の場となりました。

途中、「あの調味料を忘れた！」と言われたので、「ベトナム由来の特殊な調味料」かと思ったら、「味の素！」とのこと。実は工場がある位、ベトナムで「Aji-no-moto」は親しまれているみたいです。



みずうみギャラリー



▲敬老祝賀会 職員演芸
(すまいる苑)



▲敬老祝賀会の様子
(うぐいす苑)



▲敬老交流会記念品授与
(はなうみ苑)



▲寿齢者表彰式の様子
(あさひ乃苑)



▲親子運動会の様子
(みずうみ保育園)



▲“働く広場”絵画コンテスト
3度目の理事長奨励賞
(公益事業部：赤江さん)



▲お茶の間カフェ
認知症について学ぶ会
(カフェ太郎)



▲ひるぜんでパシャリ
(新規職員研修旅行)



▲乗客様宅の家庭菜園
は大豊作！(Rexhope)



▲第50回法吉公民館
文化祭に映像で出演
(第2保育園)



▲中国電力様 車両貸与式
(あさひ乃・シリウス)



▲ハロウィン特別ランチ
(松江東高食堂)

採用情報 RECRUIT

☎0852-27-3443

✉jinji@mizuumi.jp

詳細は 人事担当 武田まで！

★介護職員(正規・パート)

就業場所：高齢・障がい施設
(すまいる苑・うぐいす苑・シリウス苑)
働き方をご相談ください。

★看護師(正規)

就業場所：高齢者施設(すまいる苑)
各種手当が充実しています。

★調理員(正規)

就業場所：高齢者施設(すまいる苑)
年間休日122日あります。

★保育士(正規・パート)

就業場所：保育園
働き方をご相談ください



編集後記

「何年も会っていないけど、あの人がどうしてるかな…」ふと思ったら、郵便受けにその人からの手紙が届いた。電話を同時にかけてた為、呼び出し音が鳴らずに通話になりお互いにビックリした、そんな経験はありませんか。大学時代に心理学で「人間は根っこ(無意識)でつながっている」という話を聞いた時、妙に納得したことを覚えていますが(普段は非科学的なことをあまり信じない私ですが…)。

他者を思い、心を寄せていると、言葉や行動に表さなくてもきっとそれは相手に伝わると信じています。見方を変えると、この人苦手だな…というようなネガティブな感情も言

動によらず相手に伝わることもある、ということだと思えます。

「ともにゆこう」を具現化するためには、言葉で、行動で、心で、相手にポジティブな感情を伝えていくことが大切ですね。わかってはいても常に平らな心でいることは難しく、それは一生続く修行のようなものかもしれません。「ともゆこ！」を合言葉に、心つながる(つながっている)体験を皆で積み上げていけると嬉しいです。

(広報委員 岩本千代)

社会福祉法人みずうみ広報誌

「道しるべ」2022年冬号(通巻第36号)

発行日：2022年12月3日 発行人：社会福祉法人みずうみ
Tel. 0852-27-3443/Fax. 27-4301 URL http://mizuumi.jp